

自己資本規制比率

直近の自己資本規制比率

(単位：百万円)

		平成30年3月期 第3四半期末	平成31年3月期 第3四半期末	平成30年3月期末	
基本的項目	(A)	27,800	25,222	25,243	
補完的項目	その他有価証券評価差額金（評価益）等	2,202	1,494	2,166	
	金融商品取引責任準備金等	23	29	29	
	一般貸倒引当金	4	1	5	
	計 (B)	2,230	1,525	2,201	
控除資産	(C)	5,009	12,909	11,284	
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)		(D)	25,020	13,838	16,160
リスク相当額	市場リスク相当額	697	468	686	
	取引先リスク相当額	232	151	237	
	基礎的リスク相当額	1,816	1,632	1,788	
	計 (E)	2,747	2,252	2,712	
自己資本規制比率 (D) / (E) × 100			910.8%	614.4%	595.7%

(注)上記は、決算数値をもとに算出したものであります。

自己資本規制比率の推移

(単位：%)

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
6月末	415.7	405.6	570.9	513.1	622.8
9月末	434.4	366.9	486.9	917.8	665.8
12月末	429.5	363.4	543.1	910.8	614.4
3月末	430.0	432.7	487.1	595.7	

自己資本規制比率は、金融商品取引業者の財務の健全性を図る重要な指標とされています。金融商品取引業者は、金融商品取引法等に基づき、自己資本規制比率が120%を下回ることをしないようにすること等が義務づけられております。